

笑顔いっぱいの運動会！

最高の天気にも恵まれた特別の運動会、様々な制約があるなかでの実施でしたが、子どもたちの活躍する姿、笑顔をたくさん見ることができた最高の1日となりました。

嬉しいことは、数え切れないほどありましたが、私の感じたこととお話します。

まずは、開会式。1年生5名による「誓いの言葉」は、自信に満ちた表情、大きな声、堂々とした態度で、運動会のスタートにふさわしい立派な言葉でした。入学式から、約半年過ぎましたが、心も体も見違えるほど逞しく成長した姿を見ることができ、嬉しい気持ちになりました。



「やる気」が伝わった返事と挙手

競技全体を通して感じたことは、「返事」と「挙手」でした。短距離走では、スタート前に選手の紹介がありましたが、名前を呼ばれた時の子供の反応にびっくりしました。まずは、元気いっぱいの返事。明るく元気な「はい！」という声が、会場全体に響き渡りました。また、返事と同時に挙げられた手は、ぴんと伸び、子ども一人一人の「やる気」を感じました。

次に競技中の表情。ゴールに向かう子どもたちの顔は、みんな必死でした。最後まで、勝負にこだわり、絶対に諦めないという強い気持ちが伝わり、応援する私にも力が入ってしまい、つい大きな声で応援してしまいました。また、鼓笛隊では、高学年の力強い演奏にのり、1年生は、フラッグを振り、中学年は、隊形移動をしながらの鍵盤ハーモニカの演奏、46名全員の引き締まった表情が印象的で、盈進の伝統をしっかりと引き継いでくれていることに感動しました。

最後に、運動会のテーマでもあった「みんな楽しく 笑顔いっぱいの運動会」になったこと。閉会式でも述べたように、「私が、競技中に見つけた笑顔の数は、124回」勝負に負けても笑顔、頑張る友達を応援する笑顔、競技を楽しむ笑顔、家族の声援に応える笑顔、たくさんの場面で、すてきな笑顔をたくさん見ることができ、大満足です。

閉会式、6年児童による堂々とした「児童代表の言葉」で、運動会が締めくくられましたが、「まだまだ、子ども達の頑張る姿を見たいなあ」という思いでいっぱいでした。

あっという間に過ぎた今年の運動会でしたが、子ども一人一人の確かな成長を感じることができた素晴らしい時間でした。

最後になりましたが、たくさんの応援、会場の準備・後片付け等、いつも教育活動を温かくサポートしていただき、本当にありがとうございました。早いもので、今年度も半分が終わろうとしています。これからも、目標を高く掲げ、一人一人に寄り添った指導を進めていきますので、今後も皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大切な伝統を引き継ぐ「鼓笛隊」



笑顔で競技を楽しむ1年生

